

中小企業診断士試験 合格カレンダー

「合格三種の神器」で合格を勝ち取れ！



合言葉は「絶対合格！！」

believe in yourself!

☆ は じ め に

まずは、合格率約 20%の 1 次試験を突破し、2 次試験にコマを進めたことに、講師・スタッフ一同、賞賛の意を表したい。特に初学者にとっては初めて勉強する分野も多く、また 7 科目という負担も決して軽いものではなかったと思われる。2 年目以降の受験経験者もプレッシャーを受けながらの辛い戦いであつたに違いない。それら乗り越えてきた皆様は、**十分に自信を持って 2 次試験対策を進めていただきたい。**

中には、1 次試験の結果に自信がない受験生もいるかと思うが全く気にする必要はない。「中小企業診断士に合格する」という事実は（1 年後か 2 年後かは分からないが）諦めなければ必ず訪れることである。そうであるならば今から 2 次試験対策を進めておくべきである。何はともあれ、2 次試験は 1 次試験以上に過酷な戦いになるのは間違いない。是非、本レジュメを活用し、残り 2 次直前期の約 2 ヶ月半を有意義に過ごしていただきたい。

※当レジュメは「1・2 次ストレート（総合・速修）本科生の直前対策」または「2 次直前バック生」と「2 次オプションゼミ」を利用したケースを基準としている。

【4 年掛かって受かったある合格者の教訓】

- ・ まず受からない受験生 …みんなが勉強している時に勉強しない
- ・ 受かるかもしれない受験生 …みんなが勉強している時は勉強する
- ・ 必ず受かる受験生 …みんなが勉強していない時も勉強する

【目次】

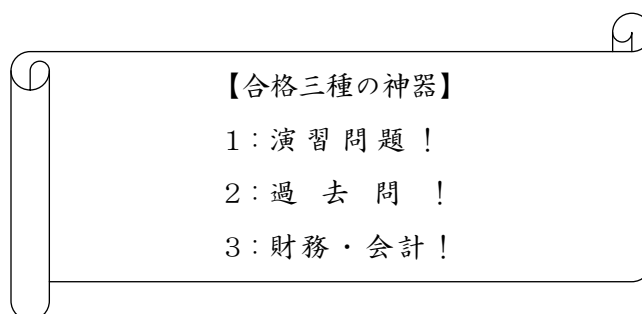
■ 戦略的に合格する	P2
■ 合格三種の神器（概要）	P2
■ 合格三種の神器（その 1～その 3 詳細）	P5
■ 合格 7 か条	P10
■ 気づきシート	P11
■ 事例振り返りシート（全体編、個別問題編）	P12
■ 合格カレンダー	P14

■戦略的に合格する！

戦略的に合格するためには効率的・効果的な勉強計画を立て、実行、振り返り、修正を行うことが重要である（PDCA サイクルの観点）。一方で、「1 次試験終了後、何をどう手をつけていいか分からない」という受験生が多い。そこで「合格三種の神器」に基づき「合格カレンダー」を作成した。勉強の道しるべにした上で、合格を勝ち取っていただきたい。

■合格三種の神器！

合格するためには、当然、ある一定レベルの実力が必要となる。その実力を身に付けるには「合格三種の神器」が必要となる。



■補足

当レジュメは、TAC 動画チャンネルの「2 次試験に向けて…今日からの学習計画は TAC にお任せ！」で使用します。ぜひご覧ください。（視聴無料）

TAC 動画チャンネル

検索

http://www.tac-school.co.jp/kouza_chusho/



■合格三種の神器（その1） 演習問題について

TAC の演習問題は毎年、本試験レベルに合わせて作問・改正をしており非常に質が良いため、2 次試験対策のメイン教材として活用することをお勧めする。言うまでもなく、「演習⇒復習⇒演習⇒…」の PDCA サイクルが重要となってくる。

演習では

- ①設定した課題を克服できたかどうか？
- ②新たな課題は何か？

の 2 つが重要である。演習ごとに課題を克服し積み上げていくことが合格可能性を引き上げる要因となる。さらに、80 分のプロセスを構築することも重要となってくる。演習を通じて、自身の 80 分プロセスを構築していただきたい。

【演習問題実践の目的】

- 1：課題の設定、克服、発見
- 2：80 分のプロセス構築

■合格三種の神器（その2） 過去問について

出題者は、過去問を見た上で当年度の問題を作成するため、そこにはある一定のルールや約束事が必ず存在する。そのルールや約束事をいち早く把握し、事例ごとの特徴を把握した上で演習に取り組むことが合格への近道である。また、「過去問 1 問 1 答」を通じて TAC メソッドを試し、「問題の解き方・点の取り方」を十分に訓練していただきたい。

【過去問実践の目的】

- 1：事例ごとの特徴を把握
- 2：TAC メソッドの確認

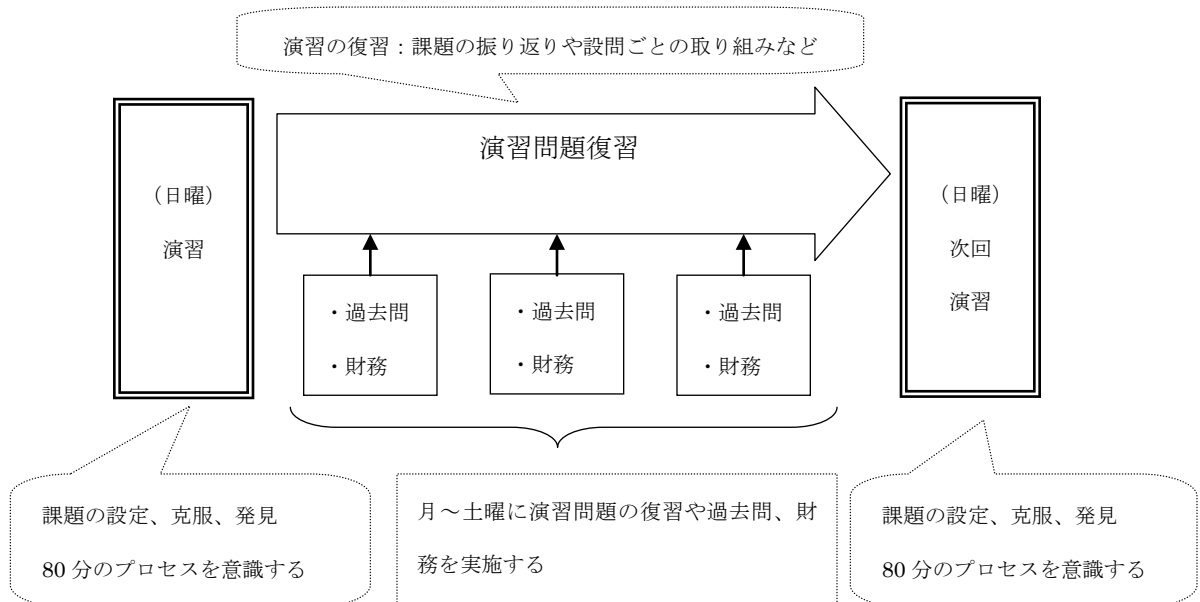
■合格三種の神器（その3） 財務・会計について

近年、事例Ⅳに占める計算問題の比率は減少傾向にある一方、難易度は高くなっているため、1 次試験の知識はもちろんのこと、過去問については必ず触れておく必要がある。計算の難易度が高い場合、皆が正答できない問題を1問正答するだけで合格可能性が格段と高まるであろう。また、難易度が低い場合は、皆が正答している問題を間違えると差がついてしまうことを忘れてはいけない。いずれにしても財務・会計は合格可能性を高めてくれる武器となってくれる。さらに、解けない問題が出題されたとしても「自分がここまで練習して解けない問題は他の人も絶対に解けないだろう」という安心感を試験会場に持ち込むことも可能である。

【財務・会計実践の目的】

- 1：合格可能性を高める
- 2：試験会場に安心感を持ち込む

■合格三種の神器を使った1週間の過ごし方 ※日曜日が講義のケース



☆合格三種の神器(その1) ～演習問題～

※演習前に必ず課題を設定して演習に臨むこと

毎回、P12・13の「事例振り返りシート」に記入しよう！

演習	演習の課題	
	お勧め	自身で追加したもの
直前演習①	・問題要求を正確に把握 ・意図的に複数解釈を実施	
直前演習②	・大枠把握を意識的に実施 ・対応付けのルールを確認する	
直前演習③	・設問ごとの難易度を確認する ・80分の流れを確認する	
直前演習④	・経営分析の解き方を確認 ・解けない問題を見極める	
直前演習⑤	・事例Ⅰの因果関係を意識	
直前演習⑥	・抜き出し系問題への対応	
直前演習⑦	・事例Ⅲの因果関係を意識	
直前演習⑧	・記述問題への対応	
公開模試	・1日の流れを確認 (例) 食事、持ち物など	
最終集中①	・課題系問題への対応	
最終集中②	・戦略系問題への対応	
最終集中③	・オペレーション系問題への対応	
最終集中④	・80分の組み立てを意識	
オプションゼミ①	・事例Ⅰのスキルを最終確認	
オプションゼミ②	・事例Ⅱのスキルを最終確認	
オプションゼミ③	・事例Ⅲのスキルを最終確認	
オプションゼミ④	・事例Ⅳのスキルを最終確認	

☆合格三種の神器（その2） ～過去問 1問1答～

P14・15 の合格カレン

ダーに記入しよう！

※対象の講義の前までに解いておくこと（網掛けは同時に解く問題）

（例）8月4Wの講義（直前演習③）までに、H22年事例Ⅲの第2問と第4問を解いておく

日程	演習問題	講義までにやっておく過去問	ポイント
8月	2W	直前講義① (Input)	・2次試験の特性を把握する。1日1事例を目安に問題を解き、80分で解けなくても白紙があっても気にせず、P11の「気づきシート」に記載しておく。
		直前講義② (Input)	
	3W	直前演習①	・因果関係への対応方法
		直前演習②	・戦略系への対応方法
	4W	直前演習③	・因果関係への対応方法 ・戦略系への対応方法
		直前演習④	・80分の時間感覚を掴む
	5W	公開模試	・試験と同じ時間で問題を解き、1日の流れを把握する
9月	1W	直前演習⑤	・因果関係への対応方法 ・戦略系、課題系への対応方法
		直前演習⑥	・戦略系への対応方法
	2W	直前演習⑦	・戦略系、課題系への対応方法 ・助言系への対応方法
		直前演習⑧	・80分の時間感覚を掴む
	3W	最終集中①	・戦略系への対応方法 ・因果関係、組織・人事系への対応
		最終集中②	・差別化戦略への対応方法 ・戦略系への対応方法
	4W	最終集中③	・因果関係への対応方法 ・助言系への対応方法
		最終集中④	・80分の時間感覚を掴む
10月	1W	OPゼミ①	・アドバイス系への対応方法
		OPゼミ②	・インターネット問題への対応方法
	2W	OPゼミ③	・情報系への対応方法
		OPゼミ④	・経営分析への対応方法
	3W	—	・8月2Wの疑問点等が解決されているか？
	4W	本試験！	・合格する為にはどうなっていれば良いか？

☆補足説明 合格三種の神器（その2） ～過去問練習方法～

■（例）題材：平成23年度事例Ⅰ第3問の場合／上限25分

※カレンダー上では80分で解く問題ですが、他の問題の練習方法の参考にして
ください。

手順①（1～2分）：第3問だけを設問分析する（複数解釈や要求解釈など）。

第3問（配点20点）

A社は、中小企業には珍しく、創業家一族による同族企業ではなく、仕入れ先や社員持株会などが主な出資者である。A社にとって、このような所有と経営の分離のプラス面とマイナス面の両面について、120字以内で述べよ。

【分析例】※問題を読む前に以下のような分析を行う。

問 題 要 求	・所有と経営の分離のプラス面とマイナス面を120字以内。 →単純にプラス60字、マイナス60字と考えると字数は意外に少なく、端的に要素をまとめる必要がある。
留意点など	・創業家一族（同族企業） ・創業家一族のマイナス面などが書いてある。 （例）一族の支配体制に対してチェック機能が働かない。 →裏返すと所有と経営の分離のプラスになる。 ・創業家一族のプラス面などが書いてある。 （例）一族の権限により経営の決断が早い。 →裏返すと所有と経営の分離のマイナスになる。 ・所有と経営の分離のプラス面が直接的に書いてある。 →株主による経営陣への牽制機能が働く。 ・所有と経営の分離のマイナス面が直接的に書いてある。 →株主は短期的な視点での利益を追い求めやすく、（現在の規模を大きくないが）成長可能性のある事業の優先順位が下がってしまう。 ※基本的には、創業家一族のプラスマイナスと、所有と経営が分離しているプラスマイナスは表裏になることが多い。 ・仕入れ先や社員持株会などが主な出資者 →比較の対象は、「通常の出資者（投資家など）」が想定される。 →仕入れ先や社員持株会の場合、単純に利益のみを求めない可能性もあり、意見が衝突する可能性もある。
解 法	・まずは（読み飛ばす可能性が高い）「創業家一族」を探し、所有と経営の分離について確認する。 ・仕入れ先や社員持株会などの記載も合わせて確認する。

手順②（5～7分）：第3問だけのために問題本文を読む（大枠把握を行う）。

- ・創業家一族のマイナス面 →第4段落、第5段落
- ・創業家一族のプラス面 →特に見当たらず
- ・所有と経営の分離のプラス面 →第2段落（前半）、第6段落（後半）
- ・所有と経営の分離のマイナス面 →第6段落（前半）

手順③（10分程度）：第3問だけのために対応付け、分析（メモなど）を行う。

- ・第4段落、第5段落
経験のなかった事業への進出、本業への影響
創業家一族の勢力、支配体制が終わり
→経営陣へのガバナンス機能（プラス面）
- ・第2段落（前半）、第6段落（後半）
工場勤務、営業部門の管理職→さまざまな経験、順調に事業を拡大
常務（現社長）→全権を持って事業運営
→優秀な人材のトップ採用（プラス面）
- ・第6段落（前半）
仕入れ先からの役員など→経営再建進まず、現状維持
→利害関係の衝突、既存事業の改革×（面）

手順④（3～5分程度）：第3問だけを解答する（実際に書く）。

プ	ラ	ス	面	は	様	々	な	経	験	を	有	す	る	優	秀	な	社	内	の
人	材	を	社	長	に	起	用	し	易	く	、	ガ	バ	ナ	ン	ス	が	働	き
経	験	の	な	い	事	業	進	出	に	よ	る	本	業	へ	の	悪	影	響	や
同	族	の	支	配	体	制	を	防	げ	る	こ	と	。	マ	イ	ナ	ス	面	は
仕	入	れ	先	等	か	ら	送	ら	れ	る	役	員	や	社	員	持	株	会	の
利	害	関	係	が	衝	突	し	事	業	改	革	が	進	み	に	く	い	こ	と。

手順⑤（適時）：気づいた点、課題などを確認し、次回演習に活用する。

手順⑥：上記をもとに、別の設問を解いてみる。

☆合格三種の神器（その3）～財務・会計～

【財務・会計：5 か条】

- 1 条：計算が解けなくても記述は必ず書く！
- 2 条：1 次試験のファイナンスは 100 点レベルにしておく！
- 3 条：1 次試験の問題は選択肢を排除して解く！
- 4 条：解く道筋を立ててから解く！
- 5 条：本番を想定して解く！

1 日 1 項目を目処
(全 31 項目) に
P14・15 の合格カ
レンダーに記入し
よう！

2 次試験過去問			目安時間	優先度
H20	第 2 問	設備投資の経済性	20 分	◎
	第 3 問	設備投資関連の計算	25 分	◎
H21	第 2 問	財務レバレッジ	15 分	△
	第 3 問	CVP 分析	20 分	○
	第 4 問	オプション取引	10 分	△
H22	第 2 問	CVP 分析	20 分	◎
	第 3 問	設備投資関連の計算	25 分	◎
	第 4 問	資金運用	15 分	△
H23	第 1 問 (設問 2)	CF 計算書	15 分	◎
	第 2 問	業務的意思決定	10 分	△
	第 3 問	採算性分析	20 分	◎
	第 4 問	デシジョンツリー	25 分	◎
H24	第 1 問 (設問 1) (設問 3)	損益計算書作成、DCF 法	25 分	○
	第 2 問	CVP 分析	30 分	◎
	第 3 問 (設問 1)	企業価値算出	25 分	◎
1 次試験過去問など (電卓可)			目安時間	優先度
H20	前半	アカウンティング	25 分	○
	後半	ファイナンス	25 分	◎
H21	前半	アカウンティング	25 分	○
	後半	ファイナンス	25 分	◎
H22	前半	アカウンティング	25 分	○
	後半	ファイナンス	25 分	◎
H23	前半	アカウンティング	25 分	○
	後半	ファイナンス	25 分	◎
H24	前半	アカウンティング	25 分	○
	後半	ファイナンス	25 分	◎
H25	前半	アカウンティング	25 分	○
	後半	ファイナンス	25 分	◎

☆合格7か条 ～合言葉は「絶対合格！！」～

※項目ごとに 1～3 つ書き出してみよう。勉強の前や寝る前に毎日、確認すること。声に出したり、他の人に説明したりすることも有効。

①試験までに絶対にやってはいけないこと



②試験前日に絶対にやってはいけないこと



③試験中に絶対にやってはいけないこと



④試験までに絶対にやらなくてははいけないこと



⑤中小企業診断士試験に合格しないと来年どうなる？



⑥中小企業診断士試験に合格すると来年どうなる？



⑦合格するために必要なこと（1つだけ）



☆気づきシート

※平成 24 年度の事例を解いた後に記入すること。

※各 2～3 個を目処に記載し、適宜、見直すこと

H23 年	8 月 2W に感じた疑問点 試験までにすべきこと、課題など	10 月 3W に確認 左記が克服されているか？
事例Ⅰ		
事例Ⅱ		
事例Ⅲ		
事例Ⅳ		
全体		

☆事例振り返りシート（全体編） ※演習ごとにコピーして使用

実施日	
演 習	

演習の課題	課題に対する振り返り

演習後の得点予想	実際の得点	平均点	上位 20%得点

【振り返り】

	改善策は？
40 点 未 満 だ っ た	
50 点 未 満 だ っ た	
0 点 の 設 問 が あ っ た	
時 間 が 足 り な か っ た	

	次も同じ対応をするためには？
50 点 以 上 だ っ た	
60 点 以 上 だ っ た	
全 設 問 で 得 点 で き た	
適 切 な 時 間 配 分 だ っ た	

次回演習に向けての 最大の課題は？	
----------------------	--

☆合格カレンダー 「自分の学習計画を書き込もう！」

日程	学習計画	達成度	日程	学習計画	達成度
8/5 (月)			8/26 (月)		
8/6 (火)			8/27 (火)		
8/7 (水)			8/28 (水)		
8/8 (木)			8/29 (木)		
8/9 (金)			8/30 (金)	2次公開模試	
8/10 (土)			8/31 (土)	2次公開模試	
8/11 (日)			9/1 (日)	2次公開模試	
8/12 (月)			9/2 (月)		
8/13 (火)			9/3 (火)	1次試験合格発表	
8/14 (水)			9/4 (水)		
8/15 (木)			9/5 (木)		
8/16 (金)			9/6 (金)		
8/17 (土)			9/7 (土)		
8/18 (日)			9/8 (日)		
8/19 (月)			9/9 (月)		
8/20 (火)	本試験 2ヶ月前		9/10 (火)		
8/21 (水)			9/11 (水)		
8/22 (木)			9/12 (木)		
8/23 (金)			9/13 (金)		
8/24 (土)			9/14 (土)		
8/25 (日)			9/15 (日)		

達成度をチェックしよう！（例：できた→○ できなかった→× 等）

日程	学習計画	達成度	日程	学習計画	達成度
9/16 (月)			10/7 (月)		
9/17 (火)			10/8 (火)		
9/18 (水)			10/9 (水)		
9/19 (木)			10/10 (木)		
9/20 (金)	本試験 1 ヶ月前		10/11 (金)		
9/21 (土)			10/12 (土)		
9/22 (日)			10/13 (日)	本試験 1 週間前	
9/23 (月)			10/14 (月)		
9/24 (火)			10/15 (火)		
9/25 (水)			10/16 (水)		
9/26 (木)			10/17 (木)		
9/27 (金)			10/18 (金)		
9/28 (土)			10/19 (土)		
9/29 (日)	本試験 3 週間前		10/20 (日)	本試験当日！	
9/30 (月)			☆本試験会場への持ち物チェック ☐ 受験票・筆記用具・電卓 ☐ 教材（最小限） ☐ 昼食・軽食（アメ、チョコ等） ☐ 羽織・雨具 ☐ 時計・小銭（自動販売機用） ☐ 絶対合格する！という気持ち！		
10/1 (火)					
10/2 (水)					
10/3 (木)					
10/4 (金)					
10/5 (土)					
10/6 (日)	本試験 2 週間前				

【MEMO】

【MEMO】

【MEMO】



TAC